

## 兵庫県社保協 FAXニュース

2021年8月16日

兵庫県社会保障推進協議会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7  
兵庫県民連内  
電話 078(303)7351 / FAX 078(303)7353  
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

- \*兵庫県後期高齢者医療広域連合議会 令和3年第2回定例会 8月17日(火)13時30分~50分まで傍聴受付センタープラザ6階
- \*第48回中央社保学校 8月28日(土)~29日(日) 愛知県労働会館、全国各地をWebでつなぎます 兵庫県社保協視聴会場は両日ともに兵庫県保険医協会
- \*「医療・介護、保健所の削減やめろ #いのちまもる緊急行動」全国一斉行動・兵庫県社保協 9月5日(日)12時30分~神戸・元町大丸前

# 新型コロナ禍での運動交流 兵庫県社保協第50期定期総会開催

兵庫県社保協は、7月31日(土)神戸勤労会館308号室で第50期定期総会を開催しました。

「社会保障拡充のため、共同を広げ『新自由主義路線政治』を変えよう」をスローガンにし、19団体27名の参加者全員で、21年度活動方針・予算、50期の役員体制などを採決し確認しました。



## 病床削減、保健所の統合など国の姿勢が コロナ対応をさらに困難にさせた

### 武村会長 挨拶と特別報告



武村義人会長は開会挨拶で、新型コロナウイルス感染症対応で医療・介護の事業所が危機的な状況に追い込まれながら対応した状況と、介護保険の補

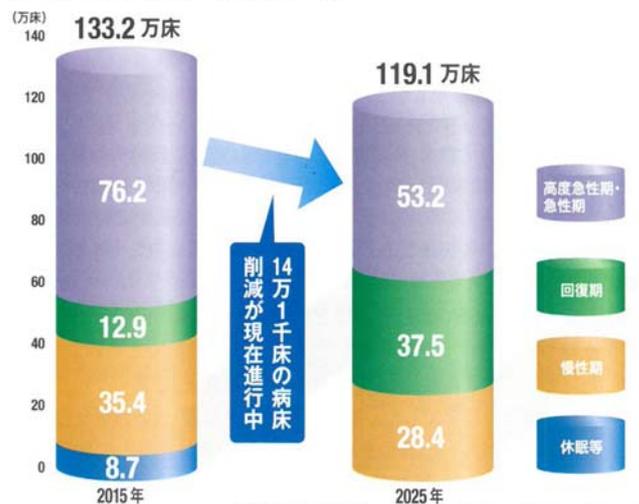
足給付引き上げで、入所施設やショートステイが利用できなくなる状況を説明し「腐った政治を総選挙で兼ねなくてはならない」と語りました。

特別報告では、兵庫県保険医協会作成の「今こそ医療費抑制政策の転換を」パンフレットとパワーポイントを使って特別報告を行いました。

政府は「日本は病床が多い」と病床を削減し、保健所も統廃合、これによりコロナ対応がさらに困難になりました。新型コロナウイルスの感染拡大の中で医療機関にベッド確保を求めながらも、急性期病床を減らすことをまだ続けようとしています。国の姿勢がコロナ対応をさらに困難にしているのです。

新自由主義とは「儲けがないのに収入を上げようとする」もので、「大企業優遇」は財界が直接政府の審議会等に入って指示しています。社会保障の充実と雇用の安定で、国内市場が拡大し経済が循環します。今こそ社会保障給付を増やし、社会保障の拡充を求めましょう。

V-2/ 地域医療構想による病床削減計画



出典：厚生労働省「平成29年版厚生労働白書—社会保障と経済成長—」より

(県保険医協会作成パンフレットより)

## 堤事務局長 議案提案

社会保障推進協議会 第50期定期総会

2021年7月31日



「社会保障拡充のため、共同を広げて「新自由主義路線政治」を変えよう」をスローガンに堤事務局長から2020年度活動のまとめ2021年

度の課題・方針が提案されました。

21年度の方針では、新たに「新型コロナウイルス対策に関する取組」が加わり、感染拡大防止策の充実や、生活維持に欠かせない職業の人材確保、給与制度の充実を当事者と共に求めていくことが明記されました。

75歳医療費窓口負担2倍化阻止の運動を幅広い団体や個人と協力して取り組む提起では、8月に開催される「兵庫県後期高齢者医療広域連合議会」へ実施を見送るよう求める請願書提出を予定しています。

総選挙で「新自由主義路線政治」から「社会保障充実路線政治」に変える働きかけでは、中央社保協の、総選挙で政治転換を求める世論構築、共同の推進として「いのちまもる緊急行動」9/5に賛同し、兵庫でも共同行動を呼びかけています。神戸市、尼崎市、姫路市で加盟団体、個人の宣伝行動参加を呼びかけます。

その他、身近な病院・病床を削減する「地域医療構想」を見直し、感染症対策強化・地域医療拡充の要求。介護保険料の引き下げ、補足給付の自治体独自の補助など利用者負担軽減を要求していきます。国保料の引き上げをさせない、子ども均等割りを全自治体で廃止すること等が提起され、議案確認がされました。

武村会長再任はじめ、26名の役職が確認されています。

## 2名の発言 取り組みを紹介



兵庫県社会保障推進協議会 第50期定期総会

2021年7月31日



済生会兵庫県病院の存続・充実を求める会事務局長で北区社保協の前山美由紀さんが、済生会病院と三田市民病院の統廃合の問題で進捗状況を報告。6月に開かれた第1回北神・

三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会で、県健康局長は「神戸と阪神の医療圏域を超えた病院の統廃合は可能、同時に病床削減が必要」と発言し、2022年3月には報告書が確定します。

しかもコンサル会社丸投げで、病院経営を優先し、

患者・市民の声を全く聞かない、説明もない姿勢です。

今後、地域でのアンケートの取り組みなど公的病院の存続を訴える地域住民の運動を継続していくことが報告されました。



新婦人県本部の由利美香さんからは、この間の活動として4月に「コロナ禍のもと、児童・生徒(学生)の健康と学習権が守られるために、生理用品の配布と相談環境の整備お求めます」を兵庫県に提出したことを紹介。



生理用品設置について「コロナ対策の一環として位置づけられていることが問題」と、返却不要のトイレ個室への設置と生理用ショーツの配布など4項目の改善を求めている内容が報告がされました。



## 森口副会長 まとめ

森口眞良副会長は、「本来ならば50期開催ということ、ホテルでの盛大に開催するところですが」と少しユーモアを交え、今後の社会保障を充実させる運動の広がりを語り、と討論を締めくくりました。



(メッセージ)

衆議院近畿ブロック比例・兵庫8区予候補こむら潤

(配布資料)

- ①議案書  
議案、活動資料(県社保協、地域社保協、団体)
- ②2021年度自治体キャラバン  
(県社保協統一要望書、アンケート)
- ③2020年度自治体キャラバン  
(アンケート結果)
- ④兵庫県保険医協会パンフレット



なお、当日欠席の構成団体には8/3配布資料(兵庫県保険医協会パンフレット含まず)と会費請求書を送らせていただきました。